

第1回構造科学と新物質探索研究会「アパタイト型酸化物の結晶構造と酸化物イオン伝導とその機構: -現状、問題点と展望-」 The 1st Workshop on the Structure Science and Novel Materials: Crystal Structure, Oxide-ion Conduction & its Mechanism of Apatite-type Oxides: Present Status, Problems & Perspective

開催日:2015年3月18日(水)9:00~12:00 開催場所:B会場

主催団体名:構造科学と新物質探索研究会

概要・開催内容:物質の原子レベルでの構造と物性との相関、並びに新物質探索はセラミックスの科学と技術にとって最も重要な研究課題である。近年、次々と新物質が発見され、エネルギー分野、環境分野、エレクトロニクス分野などあらゆる分野で新たな展開がある。一方、新物質の発見は、偶然に頼る部分も多い。また、原子レベルでの材料特性発現機構には未解明の課題も多い。本研究会では、構造科学や新物質探索で優れた成果を上げている研究者に御講演頂き、構造科学と新物質探索の新しい方向を探ることを目的としている。Gordon Conference や Faraday Discussions のようなディスカッションを中心としたワークショップにする。この第一回研究会ではアパタイト型イオン伝導体を中心に、構造とイオン伝導およびそのメカニズムの課題と展望を議論する。

招待講演者(ご本人に確認済みリスト):中山享先生(新居浜高専)「アパタイト型イオン伝導体の特徴と欠点」、松永克志先生(名古屋大)「DFT 計算から見たアパタイト型イオン伝導体のイオン伝導機構の現状と問題点」、奥寺浩樹先生(金沢大)「実測に基づいたアパタイト型化合物の構造と可能な伝導パス」; 基調講演と討論司会:八島正知、藤井孝太郎(東工大)「アパタイト型イオン伝導体の構造とイオン伝導機構:課題と展望」

参加対象者:会員(個人・教育・シニア)、学生会員、非会員 参加費:無料

予定参加者数:10~40名 申込方法:聴講するのに事前申し込みは不要ですが当日お名前と所属と連絡先を記してください。 交流会(懇親会)開催予定:なし 詳細情報 HP : <http://www.cms.titech.ac.jp/~yashima/ssnm01>

連絡先

名前:八島正知、藤井孝太郎
勤務先:東京工業大学・大学院理工学研究科・
物質科学専攻/化学専攻/理学部化学科
勤務先所在地:〒152-8551 目黒区大岡山 2-12-1-W4-17

T E L:03-5734-2331(藤井)
F A X:03-5734-2331(藤井)
E - m a i l:kfujii@cms.titech.ac.jp (藤井)